

SDGs 発想で社会に価値を提供

From company foundation to the present, offering value to society through SDG ideas

- examples of NGK Initiatives

日本ガイシ株式会社 ESG 推進統括部コーポレートコミュニケーション部 中居友紀

NGK Insulators, Ltd. Yuki Nakai

E-mail: nakai-y@ngk.co.jp

持続可能な製品の開発とプロセスの実現

日本ガイシ（以下、NGK）は、社名に冠するがいし（碍子：電気を絶縁し電線を支えるセラミックス製の部品）を祖業とするセラミックスメーカーで、その原点は、日本に電気が普及しはじめた明治に遡る。当時の日本は、電力の安定供給に不可欠な高圧送電用がいしを輸入に頼っており、この国産化が大きな社会課題であった。「営利ではなく、国家への奉仕としてやねばならぬ」（NGK 初代社長・大倉和親）。そんな使命感から当社は 1919 年、電力の需要増大に応え、社会の近代化を支えるべく歩みを始めた。この創業の精神は、まさに SDGs の発想といえる。以来、一貫して事業を通じた社会課題の解決に取り組んできた。

昨年発表した今後のビジョンでは、あらためて ESG（Environment/環境、Social/社会、Governance/企業統治）を経営の中心と位置付け、カーボンニュートラルな社会の実現に製品やサービスで貢献することを明示するとともに、自らも 2050 年の CO₂ 排出量ネットゼロを達成目標とすることなどを盛り込んだ。SDGs の達成に向けて、製品開発はもちろん、その生産活動も持続可能であることを目指している。

我々 B to B メーカーは、製品が消費者の目に触れる機会が少なく、このような取り組みは社外に認知されにくいものだが、この課題の解消にも SDGs は役立っている。SDGs は国連によ

って採択されたものであり、消費者や子どもたちの認知度も高い。当社の事業活動や価値提供をステークホルダーに分かりやすく伝えるアイコンにもなってくれると考え、「100 年前から、SDGs 発想。」のキャッチコピーを企業広告でも展開している。

あらゆる企業活動を通じて SDGs 達成に貢献

これら事業を通じた活動のみならず、あらゆる企業活動を通じて SDGs の全目標への貢献を目指している。特徴的な活動の一つに 1997 年から四半世紀にわたり企画・制作している「NGK サイエンスサイト」という科学コンテンツがある。次世代を担う子どもたちに科学の楽しさを伝えたいという思いで、毎月連載してきた科学実験は約 280 点。当社ホームページの中で最多のアクセスを集める人気コンテンツとなっている。

昨年、本コンテンツのリニューアルを実施。①SDGs とサイエンスの視点で身近なテーマを紐解く YouTube 番組 ②サイエンススイーツを切り口に関連する物理学を紹介する読み物（科学雑誌 Newton に掲載） ③グローバルに活用できるノンバーバルのショートムービーなどの新企画を追加した。いずれも専門家の監修と協力により実現した企画であり、これら新たな科学コンテンツの開発について、現在までの取り組みを報告する。